



ピッコジョッピジョッピ
TURNでアーティストに出会う! 『日常非常日』
「TURNフェス 4」開催及び取材のご案内

平成 30 年 7 月 11 日
アーツカウンシル東京
(公益財団法人東京都歴史文化財団)



TURN



「TURN フェス 3」(2017 年)の様子

TURN とは、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトの総称です。平成 29 年度より、東京 2020 公認文化オリンピックアードとして実施しています。

このたび、平成 30 年 8 月 17 日 (金) ~19 日 (日) の 3 日間、上野の東京都美術館で「TURN フェス 4」を開催します。

4 回目を迎えた今回は、監修者・日比野克彦による造語「日常非常日 (ピッコジョッピジョッピ)」をテーマに、ひとりひとり異なる日常が会うことで生まれる“違い”を知り、それを楽しむ場を創造します。TURN に参加しているアーティスト、各施設、コミュニティのほか、呼びかけに応えた多彩なゲストたちが、展示、ステージ、ワークショップ、トーク、ツアーでフェスの会場を盛り上げます!

開催概要

- ・タイトル : TURN フェス 4
- ・会 期 : 平成 30 (2018) 年 8 月 17 日 (金) ~19 日 (日)
- ・開室時間 : 17 日 (金) 9 : 30 ~21 : 00、18 日 (土) ・19 日 (日) 9 : 30 ~17 : 30
(入室は閉室の 30 分前まで)
- ・会 場 : 東京都美術館 (東京都台東区上野公園 8-36) ロビー階 第 1・第 2 公募展示室
- ・入 場 料 : 無料 ※手話通訳・文字支援等のアクセシビリティサービスあり
- ・主 催 : 東京都、アーツカウンシル東京・東京都美術館 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、
特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学
- ・公式 URL : <http://turn-project.com>

》テーマは「日常非常日(ピジョツピジョツピ)」

経験とか知識とかが障害になることがあるとしたら、
それはどのようなことなのかを考えてみる。
私と他者が同じものに対峙しても私の経験は他者の経験と同じにはならない。
私の日常はあなたの非日常。あなたの日常は私の非日常。
それがいつも一緒にあるのが日常非常日。

日比野克彦

》TURN フェス4 のプログラム

展示・ワークショップ・ステージ

- 日比野克彦が施設にショートステイした作品
- 鈴木一郎太は転移・逆転移を参考に、「支援、アート、個人」を考える
- 袋田病院の精神科医療とアートの取り組み
- みずのきにみる福祉施設の TURN LAND
- テンギョウ・クラのアフリカでの福祉施設との出会い
- 伊勢克也の「共生するアトリエ」
- アレハンドラ・ミスライとヘンリー・オルティス・タピアが東京でTURN する
- 野老朝雄のデザインを楽しむワークショップ
- 永岡大輔・山崎大造と作る竹の《球体の家》
- 中崎透が木端でつくる《コッパーランド》
- 今井さつきの《人間ノリ巻き》
- 角銅真実が音楽で作るワークショップ
- 富塚絵美・マリー・島田明日香による楽曲「ピジョツピジョツピあー」
- 大西健太郎、小野龍一のエクアドル凱旋パフォーマンス
- 森山開次が踊り、富田了平が撮った施設での交流
- 田村尚子が伝えるフランスの精神科病院ラ・ボルトの世界
- 山城大督は乳幼児とワークする
- 上田假奈代と編む施設の魅力
- 五十嵐靖晃の旅
- 岩田とも子と折形/ORIKATA



日比野克彦、『キグネ』、2014年
撮影：池田晶紀＋川瀬一絵＋池ノ谷侑花（ゆかい）
Courtesy of TURN 展実行委員会、日本財団



アレハンドラ・ミスライ
(アルゼンチン・ブエノスアイレス)

トークイベント・ガイドツアー

◎ツアー

参加アーティストや東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」のアーティスト・コミュニケーター「とびラー」らが案内役となって一緒にフェスを巡るツアープログラムを多数実施します。様々なフェスの楽しみ方を見つけられます。

◎トーク

福祉施設、地域、SDGs（持続可能な開発目標）などのテーマとアートの関係を語るトークの数々。3日間で20本以上実施予定です。

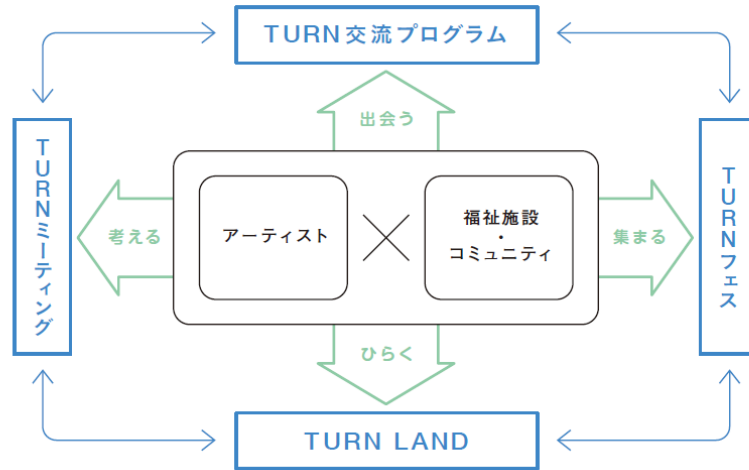
その他、多数のアーティストの参加と複数のプログラムの開催を予定しています！

※詳細は公式ウェブサイト、SNSから随時お知らせします。
※出演者やプログラム内容等は、予告なく変更になる場合がございます。

【TURN とは】

TURN とは、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトの総称です。平成 27 (2015) 年、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する東京都のリーディングプロジェクトの一つとして始動した後、平成 29 (2017) 年度より、東京 2020 公認文化オリンピアドとして実施しています。

アーティストが、福祉施設や社会的支援を必要とする人のコミュニティへ赴き、出会いと共働活動を重ねる「TURN 交流プログラム」と、TURN の活動が日常的に実践される場を地域につくり出す「TURN LAND」を基本に据え、「TURN ミーティング」と「TURN フェス」の開催によって広くその意義を発信します。



■TURN を創り出す 4 つのプログラム

TURN 交流プログラム

アーティストと、福祉施設や社会的支援を必要とする人の集うコミュニティが出会い、相互に関係しあう時間を重ねる共働活動です。また、社会や日常で表面化されていないことへの探求を目的としたアーティストによるリサーチも行います。

TURN LAND

福祉施設やコミュニティが、アーティストとともに参加型のプログラムを企画します。場所のもつ従来の機能に、市民が集まることができる地域にひらかれた文化施設としての役割が加わり、TURN を日常的に実践する場をつくります。

TURN フェス

TURN 交流プログラムや TURN LAND を実施する多様なアーティストや交流先の活動が一堂に会するフェスティバル。作品展示やワークショップ、トークイベント、オリジナルプログラム等を通して、TURN を体感します。

TURN ミーティング

TURN の可能性を共有し、語り、考えあう場。参加アーティストや交流先などの関係者とともに、各分野で活躍するスペシャルゲストを招き、様々な視点から TURN を考察します。



- ・ 監 修：日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
- ・ プロジェクトディレクター：森 司（アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長）
- ・ コーディネーター：奥山理子（アーツカウンシル東京、東京藝術大学特任研究員、みずのき美術館キュレーター）

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、2020 年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。 <http://www.artscouncil-tokyo.jp>